

特別企画展

～日本最大の土偶～

# 西ノ前遺跡の女神たち



と き：平成9年9月18日(木)  
～10月19日(日)

ところ：山形県立博物館

(9月22日・23日は特別開館)

主催／山形県立博物館

協力／(財)山形県埋蔵文化財センター

## 開催にあたって

舟形町の西ノ前遺跡から日本最大の土偶が出土したのは今から5年前の平成4年の暑い夏の日です。

この発見は大きく報道され、考古学に興味を持つ全国の多くの方々に驚きと感嘆で迎えられました。

45cmという長身で洗練された姿からか、いつしか「縄文のヴィーナス」と呼ばれ親しまれるようになったのも自然ななりゆきだったと思われます。

本年は「ねんりんピック」が山形県で開催されます。これを機に県土の豊かな自然と共に太古のすばらしい文化財を紹介し、新たな山形の魅力を見い出してもらえればと思っています。

また、日頃見ることのできない実物を公開し、その素晴らしさをあらためて多くの皆様と共有できることを願うものです。

平成9年9月

山形県立博物館長

### 日本最大土偶のデータ

出土地：山形県最上郡舟形町大字舟形字西ノ前  
西ノ前遺跡（集落跡）  
年代：縄文時代中期前葉～中葉（約4,500年前～4,000年前）  
（大木7b～8a式の土偶）  
高さ：45cm  
重さ：2.8kg

山形県指定有形文化財（平成8年度指定）

表紙写真：実物とその複製（レプリカ）3体の集合写真



## 西ノ前土偶とその仲間たち

西ノ前遺跡から出土した特徴的な土偶は、現在までのところ約300点ほどの類例が知られています。

また、その分布は山形県の北半部を中心として、宮城県や福島県の北部にも及ぶことが判ってきました。

そのため、西ノ前遺跡から出土した土偶を典型的なものとして、その仲間を「西ノ前タイプ土偶」とも呼んでいます。県内では今回一緒に展示した最上町水木田遺跡や、尾花沢市原の内A遺跡からこの時代のまとまった土偶が出土しています。



最上町水木田遺跡・尾花沢市原の内A遺跡出土土偶（右下1点）



### 日本最大の土偶 (実物：舟形町西ノ前遺跡出土)

この土偶は、壊れて発見されましたが、完全に復元されました。

大きさがこれまで発見された土偶のなかでは最も大きく、お祭りなどのときに特別な意味で使われたと考えられます。均整のとれた姿や形が芸術的にも優れ、「縄文のヴィーナス」と親しまれて全国的に注目を集めています。





あたま・かお



むね



おなか



おしり



おなか

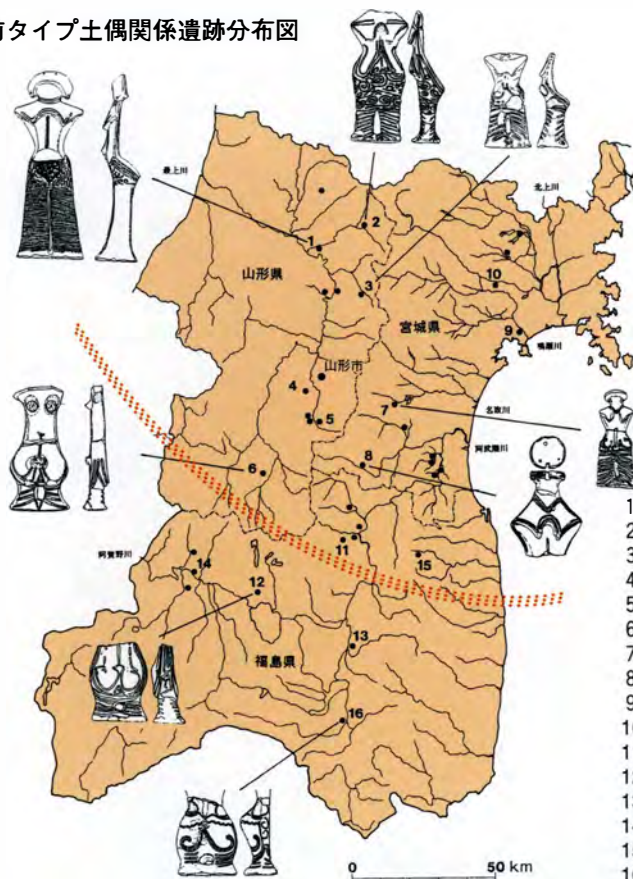


おしり



あし

## 西ノ前タイプ土偶関係遺跡分布図



- 1 西ノ前遺跡
- 2 水木田遺跡
- 3 原の内A遺跡
- 4 百々山遺跡
- 5 牧野遺跡
- 6 台ノ上遺跡
- 7 中ノ内A遺跡
- 8 小梁川遺跡
- 9 川下響貝塚
- 10 長者原貝塚
- 11 音坊遺跡
- 12 法正尻遺跡
- 13 曲木沢遺跡
- 14 石生前遺跡
- 15 月崎遺跡
- 16 七郎内C遺跡

## 利用のご案内

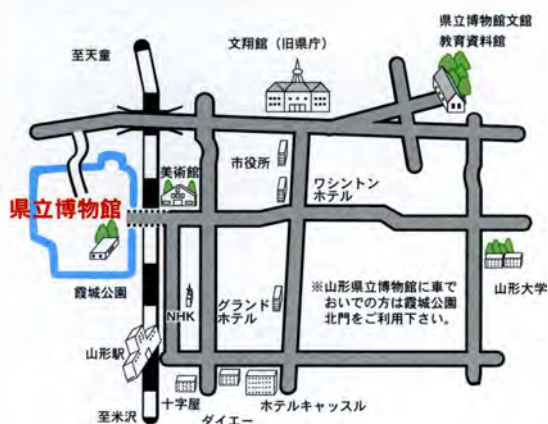
### ●開館時間

4月1日～10月31日 午前9時～午後4時30分

11月1日～3月31日 午前9時30分～午後4時30分

(但し、午後4時以後は入館することができません)

## 山形市街略図



**山形県立博物館**  
山形県立  
博物館

**教育資料館**

〒990 山形市霞城町1-8  
TEL (0236) 45-1111

〒990 山形市緑町2-2-8  
TEL (0236) 42-4397